



## テメキュラ市訪問記

今年の7月28日から8月8日の日程で、大山町の姉妹都市アメリカのテメキュラ市を中学生7人が訪問しました。交流事業の感想文の一部を紹介します。

名和中 3年

畑 日菜子

一番驚いたのは、障がいをもった方々への気配りです。2日目に行った市役所には、たくさんユニバーサルデザインがありました。

扉は、車椅子を押したまま入れるような工夫がなされています。また、廊下はとてもしっかりと移動できるような工夫がなされています。そして、どこのトイレにも女性用は丸、男性用は三角のマークが付いている。目の見えない人でも触って簡単に見分けられるようになっていました。このトイレのマークは、アメリカの法律で付けることが決まっています。市役所だけ

ではなく、街全体のあらゆる

ところにスロープがあり、歩いていて驚きました。アメリカは、障がい者に優しい国だなと思いました。日本にも、ユニバーサルデザインで溢れる町が増えてくれるといいなと思います。

中山中 3年

前田 彩希

海外へ行くことが初めてだった私にとって、姉妹都市であるテメキュラ市を訪ねるこの研修に参加したことは、とても良い勉強になりました。

アメリカに来て一番良いと感じたのは人柄です。ホストファミリーは、私にとっても優しく接してくれました。いつも笑顔で話しかけてくれたり、英語が通じない時もゆっくり聞いたり言ったりしてもらい、初めは緊張していましたが、すぐにリラクセスできました。ホストファミリーだけでなく、

大山中 2年

汐田 新菜

日本とテメキュラの気温は大きく違いますが、テメキュラの方が日本よりはるかに過ごしやすいです。それは湿度が少ないからです。日差しは痛いほど強くても、あまり暑さを感じない日が多かったです。日陰に入ると涼しく、むしろ寒気を感じるくらいの時もありました。また、夜になると、結構涼しかったです。湿度もなく、天気の良い日が続くので、洗たく物が乾くのも早いです。一度、タオルを水洗いし、部屋の中で干して寝たことがありましたが、次の日の朝には乾いていて驚きました。しかし、空気が乾燥していると体の中の水分もなくなっていくので、ホストファミリーによく、「水を持ってきている？」と聞かれました。健康面に気を付けること以外は、とても過ごしやすい気候でした。日本に帰ってきて飛行機から降りると、すごい湿度と暑さで息苦しさを感じたのを覚えています。

テメキュラの人たちは皆、優しく接してくれました。一緒に行動した学生や見学先の人々も皆、陽気で楽しかったです。しかも、ドアを開けておくなどのさりげない行動が多くあり、相手の気持ちや周りの人のことを考えた行動が素晴らしいと感じました。

このような気遣いは、日本でも少しはありますが、アメリカのように家族や友人だけでなく、誰にでも行っているところを見習いたいと思いました。

